

国際マネジメント研究科におけるFD活動

国際マネジメント研究科は、経済のグローバル化多様化など、ビジネスを巡って激しい環境変化が進むなかで、企業家精神をもって事業構築や組織変革を行うことのできるような、創造性豊かな経営プロフェッショナルの養成を目標としている。

本研究科は、この目標を達成するため、毎年、企業経営のフレームワークを体系的に学べるように、カリキュラムの改善に取り組んでいる。その際には、内外の企業が直面する先端的な経営テーマに応えられるような教育内容を構築するとともに、海外の一流ビジネススクールと提携して、グローバルな観点を盛り込んだカリキュラムを提供する努力を行っている。

本研究科は、それ以外に教育内容や教育方法の充実のために、以下のような活動を行っている。

(1) 学生による授業評価

毎学期末に、各科目の授業評価アンケートを行い、カリキュラム内容の改善や非常勤講師選定の参考にしている。各教員には、アンケートの個票と個人の平均点を開示しており、授業内容改善の刺激となっている。

さらに2008年度からは、授業評価に関して、以下の施策を実施している。

- ①各科目の個別質問の平均点を学生に開示する。
- ②授業評価結果に対する各教員のコメントを求め、開示する。
- ③授業評価の低い授業については、研究科長が授業担当者と面談し、改善案を協議する。
- ④授業評価を基礎資料として、優れた授業を行った教員を表彰する。

(2) パフォーマンス・デベロップメント・ディスカッションの実施

2011年度より開始した。教員個人の教員業績の評価目的ではなく、教員個人の活動（研究・教育・その他）に関する情報の相互交流を図り、相互理解とともに組織知・組織能力の向上を図ることを目的としている。

年に1回、研究・教育・その他（学内委員会活動、学外社会活動、研究・教育に括りにくい活動など幅広い活動を自由に記載）についてパフォーマンス・デベロップメント、ディスカッション・シートの記載に基づき、研究科長・各トラックのコンビナー、教員、の3者間でディスカッションを行っている。

(3) 評議委員会の開催

高度の専門性を要す職業等に従事し、広くかつ高い見識を有する外部の方々で組織される評議委員会を設置し、毎年、国際マネジメント専攻の教育機能、研究機能及び社会貢献機能に関する評価を受けている。また、これらの報告書を研究科Webにより公開している。

(4) ランチセミナーの実施

各教員の研究活動を充実させるため、毎月1回、昼休みの時間帯にランチセミナーを行っている。ランチセミナーでは1人の教員が最近の研究テーマや研究活動成果について発表を行い、それをもとに質疑や議論を行うことによって、問題意識の共有を図っている。

(5)施設の改善

ビジネススクールの授業を効率的に行うためには、議論に適した対話型の教室、PC が使える教室、AV 機器が設置されている教室などが必要とされる。本研究科は、授業内容や授業方法の充実のために、毎年、教室の机・イスの配置を変更したり、AV 機器を充実するなど、施設の改善を行っており、今後も引き続き実施していく。